

取扱説明書

管理機

HG-G5580



ご使用の前に	はじめに・安全にお使いいただくために	2
	安全ラベル	5
	主要緒元	6
	各部の名称	7
	組立て	8

使い方	運転前の点検	21
	運転操作の仕方	23

点検の仕方	点検整備の仕方	28
	長期間使用しないとき	31
	オプション一覧	32
	故障と思ったら	33
	お客様ご相談窓口	35

はじめに

このたびは管理機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

安全上のご注意

- ※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。
- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をしたときに、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。
注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

管理機に係る安全事項



警告



禁止

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。
- ・回転部分のカバーを取り外して運転しないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますのでご注意ください。
- ・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- ・指定された用途以外には使用しないでください。
- ・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- ・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- ・操作の仕方をよく分からない成年者でも独自の使用はご遠慮ください。



指示

- ・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。
- ・運転中は、排気ガスに十分注意してください。
- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちにふき取ってください。
- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・必ず両手でしっかり本体を保持してください。
- ・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- ・始動前点検を実施してください。
- ・製品を搬送の際、積み込み、積み下ろしは二人で行ってください。

安全にお使いいただくために

管理機の安全に係る事項

注意

 禁止	・指定された用途以外には使用しないでください。
 指示	・燃料はレギュラーガソリンを使ってください。 ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。 ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。 ・部品交換は、純正部品を使用してください。 ・装置をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。 ・定期点検整備を行ってください。 ・子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

管理機の作業に係る事項

注意

 禁止	・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。 ・装置をご使用になる前に、エンジンの始動、停止のしかたを覚えてください。
 指示	・この説明書は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。 ・定期点検整備を行ってください。 ・可動部分の位置および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他動作に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。 ・燃料は無鉛ガソリンを使ってください。

警告

 禁止	・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。 ・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。 ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。 ・屋内で使用しないでください。 ・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。 ・急傾斜地では使用しないでください。 ・石、コンクリート、金属、など硬質な物がある場所では使用しないでください。 ・室内や換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。 ・土や砂利道の上でローターを回転させないでください。 ・作業する場所の異物はあらかじめ取除いておいてください。 ・回転部分に顔や手足、髪の毛、衣服などを近づけないでください。 ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。 ・使用中は、点火プラグキャップ部や高圧コードに触れないでください。 ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。 ・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。 ・エンジン回転中は、高さ調節をしないでください。 ・エンジンが熱いうちは、可燃物を近づけないでください。 ・回転部分のカバーを外して運転しないでください。
---	--

安全にお使いいただくために

管理機の作業に係る安全事項



警告



指示

- 使用前にローターに損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 各部のネジに緩みがないことを点検してください。
- 始動前点検を実施してください。始動前点検で異常が見つかった場合は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- 使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽、耳栓などの作業に適した服装を心掛けてください。
- 使用者は、使用者自身や周囲の人、動物に対する危険事項を理解し、十分注意してください。
- 運転中は、排気ガスに十分注意してください。
- ハンドルをしっかり握り、正しい姿勢で作業してください。走るような操作はしないでください。
- 坂道の走行には注意してください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
- 使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- 異物に突き当たったり、巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、管理機が損傷していないかを調べてください。損傷があった場合には、完全に補修した後でなければ管理機を再始動しないでください。
- 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- 装置から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。

安全ラベル

注意
マニュアルに記載された
エンジンオイルをご使用ください。



注意
ご使用前に必ず取扱説
明書をよく読んで安全に
お使いください。

危険

- ・ 給油口に火を近づけないでください。
- ・ 給油中はエンジンを停止してください。



主要諸元

モデル名	HG-G5580		
本体寸法	全長	1500mm	
	全幅	870mm	
	全高	700mm	
本体質量[全装備重量]		65kg	
	名称	LONCIN	
エンジン	種類	4サイクル	
	総排気量	163cm ³	
	最大出力/回転数	4kW[5.4PS]/3600rpm	
	使用燃料	自動車用無鉛ガソリン	
	燃料タンク容量	3.6L	
	始動方式	リコイルスターター(手動)	
	走行変速段数		前進1段、後進1段
		駆動方式	BELT & CHAIN
ロータリー	耕幅	800mm	
	爪径	300mm	
	回転数	150/0/61rpm(前進/N/後進)	
耕作深さ		100mm以上	

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

各部の名称



組立て

●梱包部品一覧表

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取り出し、すべてが完全であることを確認してください。
 2. 装置を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。
 3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。
- 不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。

⚠ 警告

・不足しているものがある場合は、不足している部品を交換するまで使用しないでください。

<p>A. 本体</p> 	<p>B. 爪(左 12 枚・右 12 枚)</p> 	<p>C. ローターディスク</p> 
<p>D. ハンドルサポート</p> 	<p>E. 内・中耕うん軸(2 本)</p> 	<p>F. 外耕うん軸(2 本)</p> 
<p>G. 泥よけ</p> 	<p>H. 接続用ピン・ピンロック</p> 	<p>I. 取付けピン・ピンロック</p> 
<p>J. タイヤユニット</p> 	<p>K. ボルト・ワッシャー・ナット</p> <p>K-1. ハンドルサポート固定用</p> <p>K-2. ハンドル固定用 K-3. タイヤ固定用</p> 	<p>L. スプリング</p>  <p>取付けピン</p> 
<p>M. ディープブレード</p> 	<p>N. ボルト・ナット(各 24 個)</p> 	<p>O. ボルト・ワッシャー・ナット(各 8 個)</p> 
<p>P. ブレードサポート</p> 	<p>Q. 取付け板</p> 	<p>R. 工具(プラグレンチ)</p> 

組立て

⚠ 注意

- ・説明書をよく読んで正しく取り付けてください。
- ・作業には工具を使用します。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。

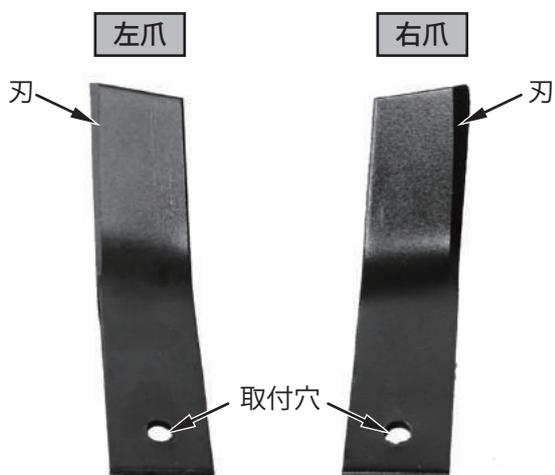
●ローターの組立

■使用工具

12mmスパナ、13mmスパナ

■組立手順

- 1** 爪は、2種類あります。
取付穴を下側、爪が上にそるようには置いたとき、刃の位置が右側にある場合と左側にある場合の2種類があります。
刃の位置が右側にある爪を「右爪」
刃の位置が左側にある爪を「左爪」と呼びます。



- 2** 耕うん方法に合わせた爪の取付け方がありません。

●**平面盛り**: 爪を内向き、外向き、交互に取付けます。

●**内盛り**: すべての爪を内向きに取付けます。

●**外盛り**: すべての爪を外向きに取付けます。

●平面盛り用のローターの組立



本体の正面から、ローターを見たところ

左ローター



右ローター



中心にあるギヤボックスを挟んで左ローター、右ローターを別々に組立てます。

組立て

平面盛り用の右ローターの組立

■耕うん軸の組立

耕うん軸は、内耕うん軸、中耕うん軸、外耕うん軸からなっています。内耕うん軸と中耕うん軸は、工場出荷時に連結しています。

1 内・中耕うん軸、外耕うん軸、接続用ピン、ピンロックを準備します。

2 外耕うん軸を中耕うん軸に差込み、取付け穴を合わせます。



軸端から取付け穴までの距離が、短い方がギヤボックス側、長い方が外耕うん軸取付け側になります。

3 接続用ピンを通し、ピンロックを入れます。



4 ピンロックが機能し、ピンが抜けないことを確認してください。

■爪の取付け



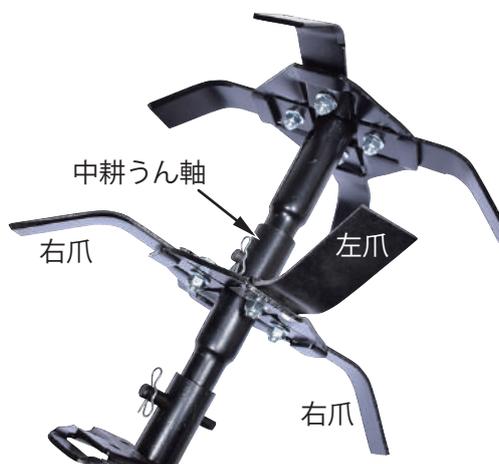
■使用工具

12mmスパナ、13mmスパナ

1 外耕うん軸のホルダに、**右爪**を取付けます。その際すべて爪は内側向きです。取付け穴を合わせ、ボルトを通しナットを締めます。

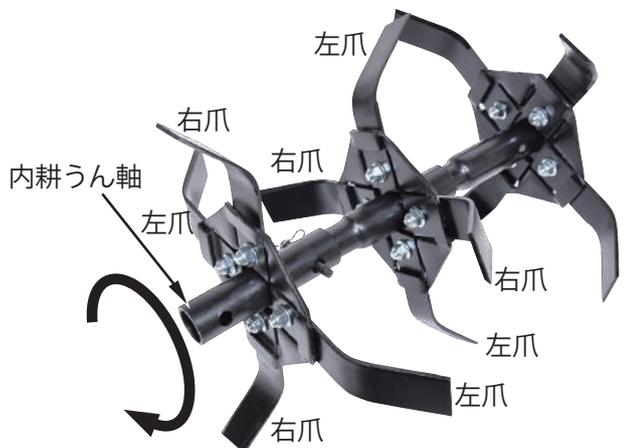


2 中耕うん軸のホルダに、**右爪**2ヶ所（対角線）を内側向きに取付け、**左爪**2ヶ所（対角線）を外側向きに取付けます。取付け穴を合わせ、ボルトを通しナットを締めます。



組立て

- 3** 内耕うん軸のホルダに、**右爪2ヶ所**（対角線）を内側向きに取付け、**左爪2ヶ所**（対角線）を外側向きに取付けます。取付け穴を合わせ、ボルトを通しナットを締めます。



- 3** 内耕うん軸のホルダに、**左爪2ヶ所**（対角線）を内側向きに取付け、**右爪2ヶ所**（対角線）を外側向きに取付けます。取付け穴を合わせ、ボルトを通しナットを締めます。



平面盛り用の左ローターの組立

■ 耕うん軸の組立

右ローターと同じ要領で組立ててください。

■ 爪の取付け

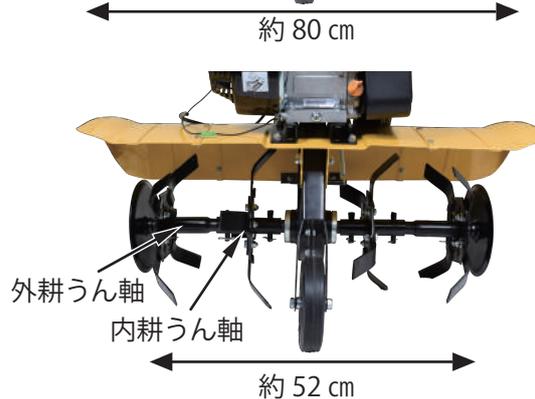
右ローターと同じ要領で組立ててください。

- 1** 外耕うん軸のホルダに、**左爪**を取付けます。その際すべて爪は内側向きです。取付け穴を合わせ、ボルトを通しナットを締めます。

- 2** 中耕うん軸のホルダに、**左爪2ヶ所**（対角線）を取付け、**右爪2ヶ所**（対角線）取付けます。その際左爪は内側向き、右爪は外側向きです。取付け穴を合わせ、ボルトを通しナットを締めます。

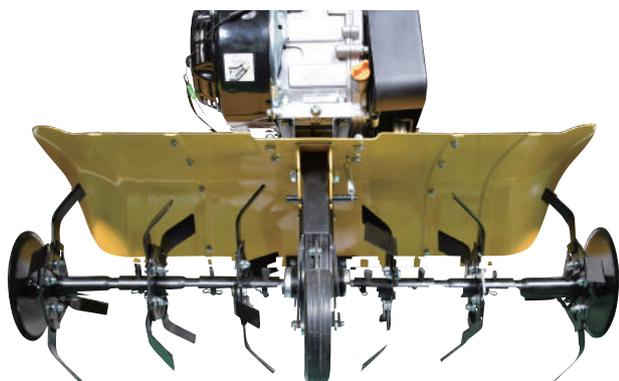
ワンポイント

耕うん軸の増減で耕幅を変えられます。



組立て

●内盛り用のローターの組立



本体の正面から、ローターを見たところ

左ローター



右ローター



中心にあるギヤボックスを挟んで左ローター、右ローターを別々に組立てます。

内盛り用の右ローターの組立

■耕うん軸の組立

耕うん軸は、内耕うん軸、中耕うん軸、外耕うん軸からなっています。内耕うん軸と中耕うん軸は、工場出荷時に連結しています。

- 1 内・中耕うん軸、外耕うん軸、接続用ピン、ピンロックを準備します。

- 2 外耕うん軸を中耕うん軸に差込み、取付け穴を合わせます。



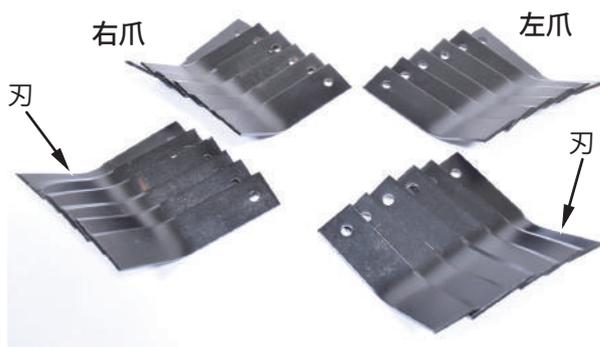
軸端から取付け穴までの距離が、短い方がギヤボックス側、長い方が外耕うん軸取付け側になります。

- 3 接続用ピンを通し、ピンロックを入れます。



- 4 ピンロックが機能し、ピンが抜けないことを確認してください。

■爪の取付け



■使用工具

12mmスパナ、13mmスパナ

組立

- 1** 外耕うん軸のホルダに、**右爪**を取付けます。その際すべて爪は内側向きです。取付け穴を合わせ、ボルトを通しナットを締めます。



- 2** 中耕うん軸のホルダに、**右爪**を取付けます。その際すべて爪は内側向きです。取付け穴を合わせ、ボルトを通しナットを締めます。

- 3** 内耕うん軸のホルダに、**右爪**を取付けます。その際すべて爪は内側向きです。取付け穴を合わせ、ボルトを通しナットを締めます。



※写真は、向きが分かりやすいようにローターディスクを取付けた状態で撮影しています。

内盛り用の左ローターの組立

■耕うん軸の組立

右ローターと同じ要領で組立ててください。

■爪の取付け

右ローターと同じ要領で組立ててください。

- 1** 外耕うん軸のホルダに、**左爪**を取付けます。その際すべて爪は内側向きです。取付け穴を合わせ、ボルトを通しナットを締めます。

- 2** 中耕うん軸のホルダに、**左爪**を取付けます。その際すべて爪は内側向きです。取付け穴を合わせ、ボルトを通しナットを締めます。

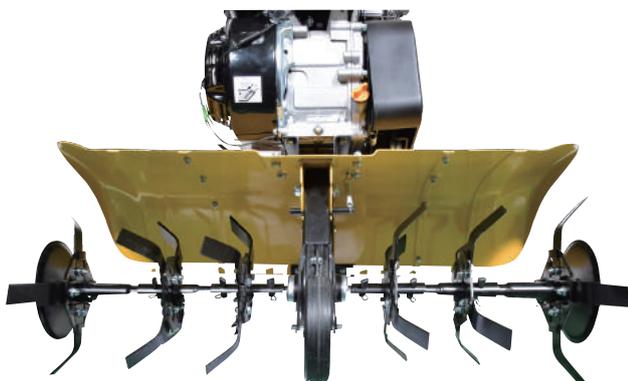
- 3** 内耕うん軸のホルダに、**左爪**を取付けます。その際すべて爪は内側向きです。取付け穴を合わせ、ボルトを通しナットを締めます。



※写真は、向きが分かりやすいようにローターディスクを取付けた状態で撮影しています。

組立て

●外盛り用のローターの組立



本体の正面から、ローターを見たところ

左ローター



右ローター



中心にあるギヤボックスを挟んで左ローター、右ローターを別々に組立てます。

外盛り用の右ローターの組立

■耕うん軸の組立

耕うん軸は、内耕うん軸、中耕うん軸、外耕うん軸からなっています。内耕うん軸と中耕うん軸は、工場出荷時に連結しています。

- 1 内・中耕うん軸、外耕うん軸、接続用ピン、ピンロックを準備します。

- 2 外耕うん軸を中耕うん軸に差込み、取付け穴を合わせます。



軸端から取付け穴までの距離が、短い方がギヤボックス側、長い方が外耕うん軸取付け側になります。

- 3 接続用ピンを通し、ピンロックを入れます。



- 4 ピンロックが機能し、ピンが抜けないことを確認してください。

■爪の取付け



■使用工具

12mmスパナ、13mmスパナ

組立て

- 1** 外耕うん軸のホルダに、**右爪**を取付けます。その際すべて爪は内側向きです。取付け穴を合わせ、ボルトを通しナットを締めます。



- 2** 中耕うん軸のホルダに、**左爪**を取付けます。その際すべて爪は外側向きです。取付け穴を合わせ、ボルトを通しナットを締めます。

- 3** 内耕うん軸のホルダに、**左爪**を取付けます。その際すべて爪は外側向きです。取付け穴を合わせ、ボルトを通しナットを締めます。

全ての刃がこちら側になります。



※写真は、向きが分かりやすいようにローターディスクを取付けた状態で撮影しています。

外盛り用の左ローターの組立

■耕うん軸の組立

右ローターと同じ要領で組立ててください。

■爪の取付け

右ローターと同じ要領で組立ててください。

- 1** 外耕うん軸のホルダに、**右爪**を取付けます。その際すべて爪は外側向きです。取付け穴を合わせ、ボルトを通しナットを締めます。

- 2** 中耕うん軸のホルダに、**右爪**を取付けます。その際すべて爪は外側向きです。取付け穴を合わせ、ボルトを通しナットを締めます。

- 3** 内耕うん軸のホルダに、**右爪**を取付けます。その際すべて爪は外側向きです。取付け穴を合わせ、ボルトを通しナットを締めます。

全ての刃がこちら側になります。



※写真は、向きが分かりやすいようにローターディスクを取付けた状態で撮影しています。

組立て

●ローターディスクの取付け

左右ローターの外側に、ローターディスクを取付けます。

■取付け手順

- 1 ローターディスク、接続用ピン、ピンロックを準備します。
- 2 ローターディスクの軸を外耕うん軸に差込み、取付け穴を合わせます。



- 3 接続用ピンを通し、ピンロックを入れます。



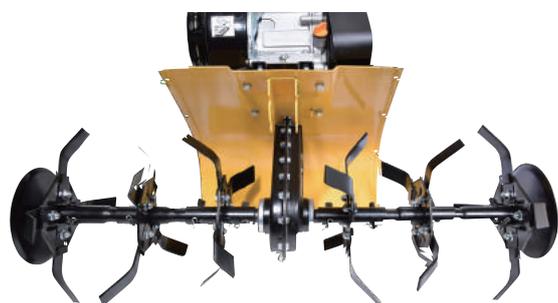
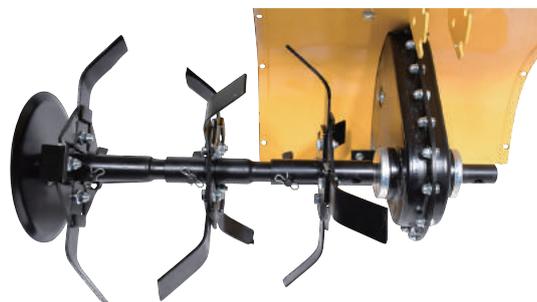
- 4 ピンロックが機能し、ピンが抜けないことを確認してください。
- 5 反対側のローターディスクも同じ方法で取付けます。

●ローターの取付け

本体ローターシャフトに、左右ローターを取付けます。

■取付け手順

- 1 左右ローター、接続用ピン、ピンロックを準備します。
- 2 右ローターを、本体に向かって右側に、左ローターを、左側に取付けます。



- 3 ローターをシャフトに差込み、接続用の穴を合わせます。
- 4 接続用ピンを通し、ピンロックを入れます。



- 5 ピンロックが機能し、ピンが抜けないことを確認してください。

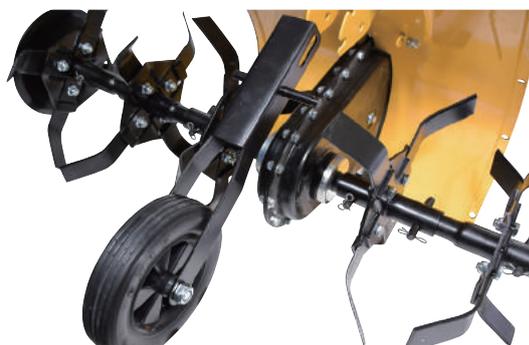
組立て

●タイヤユニットの取付け

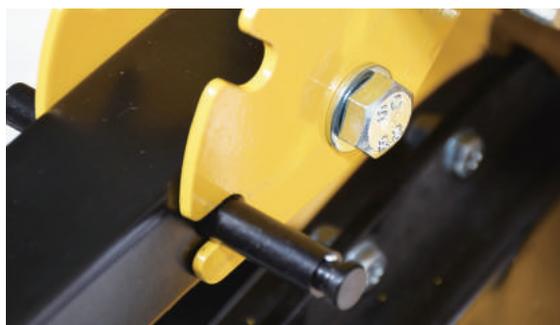
タイヤユニットを本体に取付けます。

■取付け手順

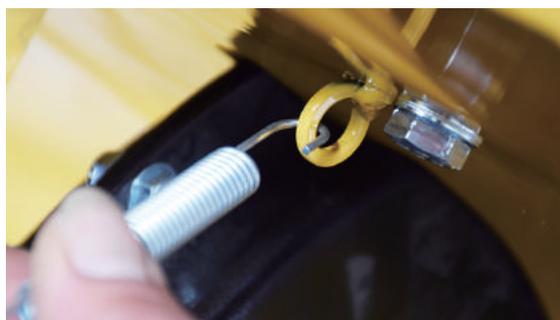
- 1 前輪タイヤユニット、ボルト、ワッシャー、ナット、スプリングを準備します。
- 2 前輪タイヤユニットのブラケットの面が上になるように、本体の取付け位置に合わせ、取付け穴を一致させます。



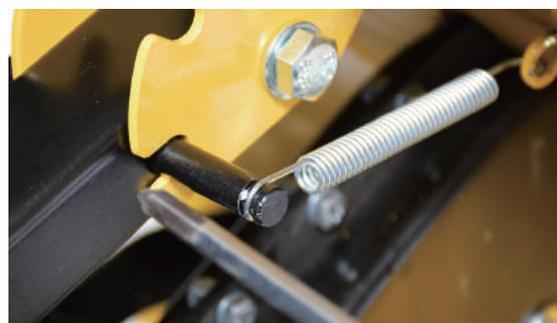
- 3 ボルトを通し、ワッシャーを通しナットを締めますが、前輪タイヤユニットが前後に動くようにするため、強く締めつけないようにします。



- 4 スプリングを本体にあるヒートンに引っ掛けます。



- 5 スプリングを前輪タイヤユニットにあるスプリング棒にある溝に引っ掛けます。スプリングをドライバー等に引っ掛け、支点にしてスライドさせると簡単にはめることができます。



組立て

●ハンドルサポートの取付け

ハンドルサポートを、本体にボルトで固定します。

■使用工具
13mmスパナ

■取付け手順

- 1 ハンドルサポート、取付け板、ボルトを準備します。
- 2 ハンドルサポートを本体の取付け位置に合わせて、取付け穴を一致させ、2本のボルトを取付け穴に差込みます。



- 3 反対側に取付け板を合わせます。



- 4 ボルトを締め、しっかりハンドルサポートを固定します。



●ディープブレードの取付け

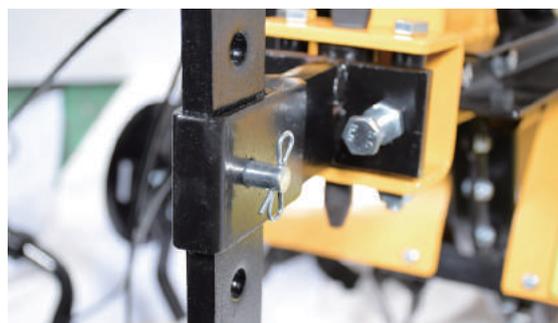
本体にディープブレードを取り付けます。

■取付け手順

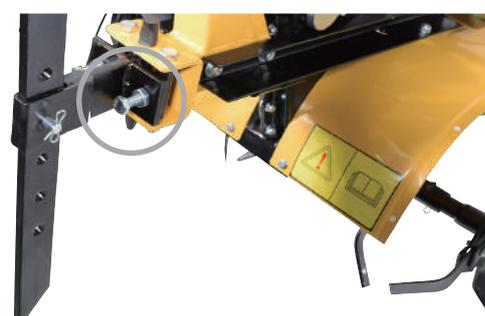
- 1 ブレードサポート、取付けピン、ディープブレード、止めピン、ピンロックを準備します。
- 2 ブレードサポートをハンドルサポートの取付け位置に合わせて、取付けピンを差します。



- 3 ブレードサポートにディープブレードを通し、取付け位置に合わせて、止めピンを差込み、ピンロックを入れて固定します。



- 4 ディープブレードが進行方向と並行になるよう、ボルトの締め具合を調整し、ナットを締めてボルトを固定します。



組立て

●ハンドルの取付け

ハンドルサポートにハンドルを固定します。

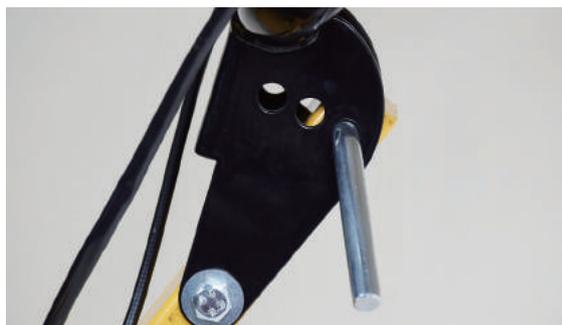
■使用工具
13mmスパナ

■取付け手順

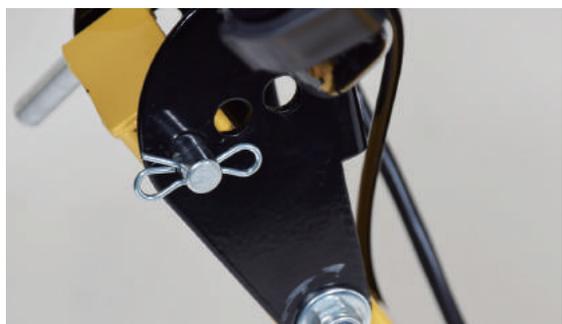
- 1 固定ピン、ピンロック、ボルト・ナット・ワッシャを準備します。
- 2 ハンドルサポートの取付け位置に、ハンドル取付け穴を合わせ、ボルトを通し、反対側からワッシャを入れて、ハンドルが大きくガタツクことなく、上下に動く程度に、ナットを締めます。



- 3 ハンドルの角度調整穴のうち、適切な位置の穴と本体の取付け穴を一致させ、固定ピンを通します。



- 4 反対側にピンロックを入れて固定します。



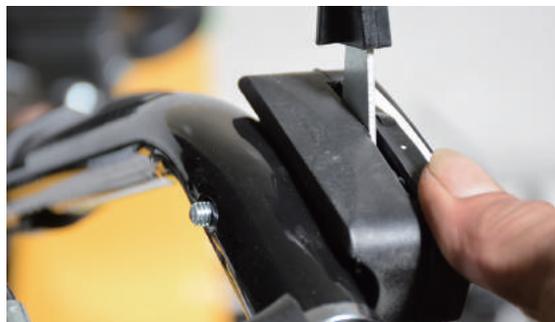
●アクセルの取付け

アクセルをハンドルに取付けます。

■使用工具
10mmスパナ

■取付け手順

- 1 本体から出ている、アクセルに予め取付けられているボルト、ナットを取外します。
- 2 ハンドルの右外側の取付け位置に合わせ、取付け穴を一致させボルトを通します。

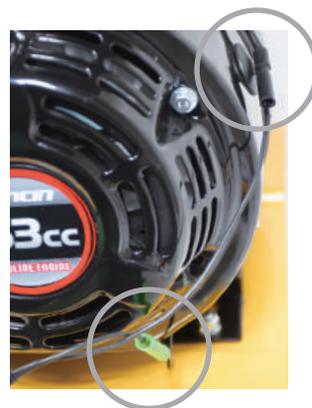


- 3 内側より、ワッシャを通しナットを締め、しっかりアクセルを固定します。



●配線の仕方

- 1 短い線は緑の線に、長い線は黒い線に接続します。



組立て

●泥よけの取付け

本体に左右の泥よけを取付けます。

■使用工具

10mmスパナ×2

■取付け手順

1 左右の泥よけ、ボルト、ワッシャ、ナットを準備します。

2 泥よけを本体の取付け位置に合わせ、ボルト・ワッシャーを通します。



3 裏からナットを締めます。



4 反対側の泥よけも同じ要領で取付けます。

●ワイヤーをハンドルに止める

ワイヤーをハンドルにクリップで固定します。

■取付け手順

1 左右のハンドルに予め取り付けてあるクリップを外します。



2 クリップにワイヤを挟んで、ハンドルに取付けます。



運転前の点検

警告



- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。



- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。
- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜取り、火気のない所に保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内にホコリや水が入らないように注意してください。

注意

エンジンオイルの量は適切な値に保ってください。エンジンの故障の原因になります。上限を超えるとエンジンがかからなくなります。少ないと、エンジンの焼付けを起こします。

●燃料の点検・補充

使用燃料	自動車用無鉛ガソリン（レギュラーガソリン）
------	-----------------------

燃料（無鉛ガソリン）の量を点検します。

■点検手順

- 1 燃料タンクキャップを外し、液面を見て残量を確認します。



- 2 少ないときは上限の位置まで補給します。

- 3 補給後、給油キャップを確実に閉めます。

●エンジンオイルの点検

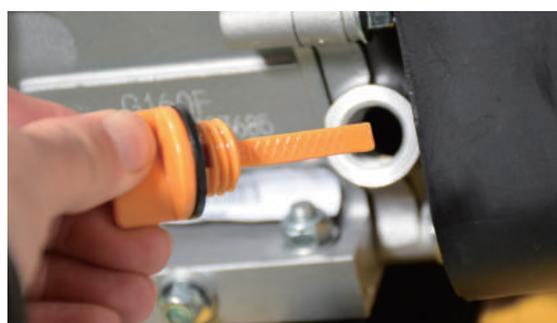
エンジンオイルの量、よごれを確認します。

■点検手順

- 1 本体を水平な場所に移動させ、オイル給油キャップを外します。



- 2 オイルが、オイルゲージのオイル量範囲にあるか点検します。



運転前の点検

- 3 オイル量が少ないときは、新しいオイルを、上限位置を超えないように、補給します。

オイルレベルゲージ



- 4 オイル給油キャップを締めます。

推奨オイル	SAE 10W-30
オイル容量	0.55L

●各部の締付け

- 1 ボルト・ナットにゆるみがないことを確認します。

●ローターの爪

- 1 ローターの爪を固定しているボルト・ナットにゆるみがなく、しっかり爪が固定されていることを点検します。

- 2 爪に損傷・曲がりまたは摩耗がないか確認します。

●レバーの動作確認

- 1 レバーがスムーズに動作し、適度な遊びがあることを確認します。

●エアクリーナーの点検

エアクリーナーの汚れを点検します。

■点検手順

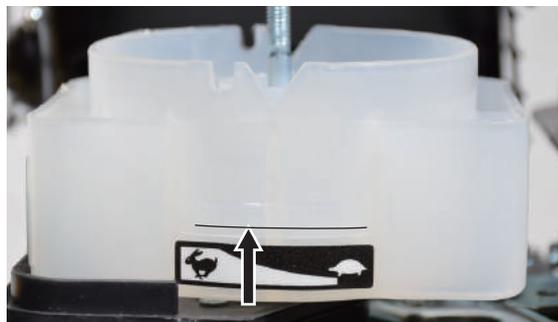
- 1 エアクリーナーの蝶ネジを反時計方向に回し、カバーを外します。



- 2 エアフィルタ（スポンジ）の汚れがひどい場合は、灯油で洗浄します。洗浄後はしっかり乾かします。



- 3 エンジンオイルをオイルだまりの「OIL LEVEL」と記載のある場所まで入れます。



👉 ポイント 湿式エアフィルター

本機は、エアの塵やゴミをフィルターに吸収しやすくするため、湿式エアフィルターを採用しています。

- 4 取外しと反対の手順で取付けます。

運転操作の仕方

警告



禁止

- ・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。
- ・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。



指示

- ・運転中は必ず両手でしっかりハンドルを握ってください。
- ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- ・装置から離れるときは必ずエンジンを停止してください。
- ・少しの移動でもエンジンを停止してください。

注意

- ・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

●エンジンのかけ方

1 前進クラッチレバー、後進クラッチレバーを離します。

2 ハンドルにあるエンジンスイッチの「ON」にします。



3 チョークレバーを「チョーク」の位置(左側)に合わせます。(エンジンが冷えている場合)

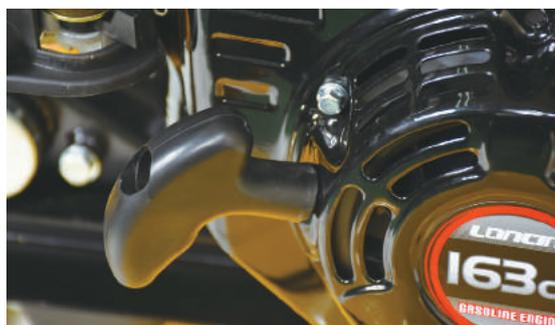


4 アクセルレバーを真ん中の位置に合わせます。



5 燃料コックを開きます。

6 リコイルスターターを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから素早く真っすぐ引きます。エンジンがかかるまで、数回繰り返します。



注) ロープを最後まで引張らないでください。引いたリコイルスターターを途中で放さないで、ゆっくり戻してください。

運転操作の仕方

7 初爆(ボンボンという爆発音)があり、そのままエンジンがかかればチョークレバーを戻しません。

▼爆発音のみで始動しない場合や、すぐ止まってしまう場合は、チョークレバーを戻して、リコイルスターターを引きます。

▼チョークレバーを引いた状態で、リコイルスターターを引き続けると、燃料を吸込み過ぎてエンジンが始動しにくくなります。

8 エンジンを起動後、暖気運転を行い、運転状況を確認します。

●エンジンの止め方

1 前進クラッチレバー、後進クラッチレバーから手を離します。

2 アクセルレバーを低回転にします。

3 エンジンスイッチを「OFF」にします。

警告



禁止

- ・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- ・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。
- ・屋内で使用しないでください。
- ・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- ・急傾斜地では使用しないでください。
- ・石、コンクリート、金属、など硬質な物がある場所では使用しないでください。
- ・室内や換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・土や砂利道の上でローターを回転させないでください。
- ・作業する場所の異物はあらかじめ取除いておいてください。
- ・回転部分に顔や手足、髪の毛、衣服などを近づけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・使用中は、点火プラグキャップ部や高圧コードに触れないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。
- ・エンジン回転中は、高さ調節をしないでください。
- ・エンジンが熱いうちは、可燃物を近づけないでください。
- ・回転部分のカバーを外して運転しないでください。



指示

- ・使用前にローターに損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・各部のネジに緩みがないことを点検してください。
- ・始動前点検を実施してください。始動前点検で異常が見つかった場合は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ・使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか確認してください。
- ・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- ・すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽、耳栓などの作業に適した服装を心掛けてください。
- ・運転中は、排気ガスに十分注意してください。
- ・ハンドルをしっかり握り、正しい姿勢で作業してください。走るような操作はしないでください。
- ・使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ・異物に突き当たったり、巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、管理機が損傷していないかを調べてください。損傷があった場合には、完全に補修した後でなければ管理機を再始動しないでください。
- ・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- ・装置から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。

運転操作の仕方

●耕起作業を行う

■耕起準備

- 1 管理機を使用する前に、圃場（ほじょう）から、ガラス、棒、大きな石、および針金などの異物を取除きます。
- 2 使用者が使いやすい高さにハンドルを調整します。適切な角度調整穴に合わせ、固定ピンを入れハンドルを固定します。（P.19参照）
- 3 ディープブレードの高さを耕うんする深さに合わせて、調整します。
上の方の穴にセットすると、抵抗が大きくなり前進速度を抑え、耕うん深さが深くなります。（P.18参照）

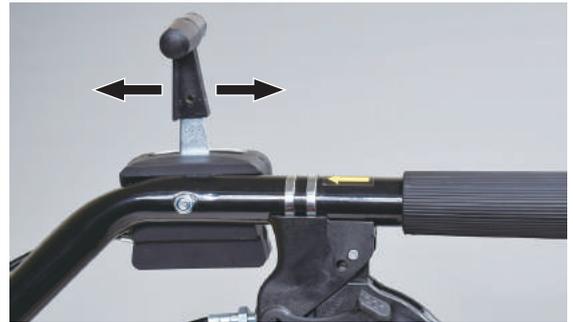


■耕起操作

- 1 前進・後進クラッチレバーから手を離します。
- 2 移動用車輪を跳ね上げます。



- 3 エンジンを始動します。（P.23参照）
- 4 アクセルレバーを作業に適した速度になる位置に合わせます。



- 5 前進クラッチロックを押し下げ、ロックを外します。



- 6 前進クラッチレバーをゆっくり握るとローターが回り、本体が前進します。



- 7 ハンドルは、少し下に押さえるだけにし、無理に押さえつけないようにしてください。
押さえ過ぎると、ローターが地面から浮くことがあります危険です。

- 8 前進クラッチレバーを放すと、ローターが止まり、本体は停止します。

運転操作の仕方

■後進

後進するときは、後方に障害物や溝などが無いことを確認してから操作してください。

- 1 前進・後進クラッチレバーから手を離します。
- 2 アクセルレバーを低速（かめマーク）に合わせます。



- 3 後進クラッチロックを押し下げ、ロックを外します。



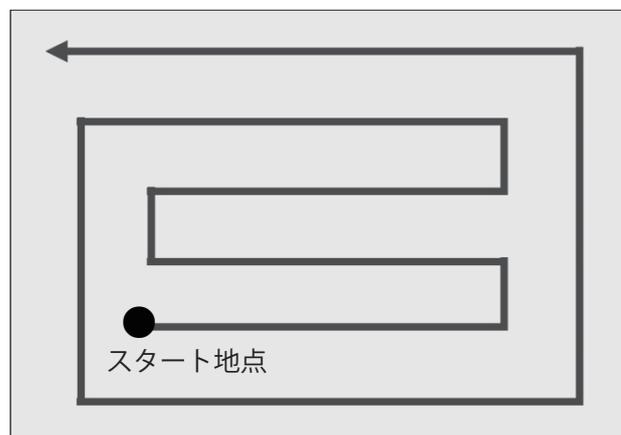
- 4 後進クラッチレバーをゆっくり握ると後進します。（足元や周囲に注意）



- 5 低速で後進するようアクセルレバーを調節してください。
- 6 後進クラッチレバーを放すと、ローターが止まり、本体が停止します。

■耕うんの仕方

- 1 圃場（ほじょう）への出入りは低速で行ってください。
- 2 スタート地点から、まっすぐ耕うんしていきます。
- 3 畑の端にきたら、アクセルレバーを最低速（カメ側）にし、ハンドルを持ち上げディープブレードを地面から上げて、ゆっくり本体をUターンさせます。



- 4 アクセルレバーを高速（うさぎ側）にして、耕うんしてきた隣を耕うんするように本体を操作します。
- 5 耕うん作業を畑の端まで繰返し行います。
- 6 土が硬い場合は、一度に掘るのでなく、複数回に分けて掘ると、効率良く耕うんができます。

運転操作の仕方

●運搬、輸送について

本機を運搬するときは、次のことに注意してください。

警告



- ・運搬時は必ずエンジンを停止してください。
- ・重量物の運搬は、2人以上で行ってください。
- ・運搬する場合は、燃料もれによる火災を防止するため、燃料タンク、キャブレターからガソリンを抜取ってください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。

注意



- ・運搬中に本体が動かないように、ロープなどでしっかり固定してください。
- ・本体を水平になるように保持してください。

点検整備の仕方

警告

- ・安全を確保し作業を行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。

注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管してください。

お買い求めいただきました製品を安全にご使用いただくために、定期的に点検を実施してください。

点検項目	実施時期
燃料の点検	作業前
エンジンオイルの点検	作業前
エアクリーナーの点検	作業前
エンジンオイルの交換	初回20時間 以降100時間毎
点火プラグの点検・清掃	点検50時間 交換250時間毎
Vベルトの点検と調整・交換	100時間毎
各部のネジの緩み点検	作業前
燃料系の点検・メンテナンス	長期保存の前

●エンジンオイルの交換

■交換の仕方

- 1 本体を水平な場所で水平な状態にします。
- 2 ドレンボルトを緩め、オイルを完全に抜きます。



- 3 オイルを抜取ったら、ドレンボルトを確実に締めます。

- 4 オイル給油キャップを開けます。



- 5 新しいエンジンオイルをオイルゲージのオイル量範囲の位置まで入れます。

オイルレベルゲージ



推奨オイル	SAE 10W-30
オイル容量	0.55L

点検整備の仕方

●湿式エアフィルタの清掃

50～60時間ごとにエアフィルタを清掃します。

■清掃の仕方

- 1 エアクリーナーの蝶ネジを反時計方向に回し、カバーを外します。

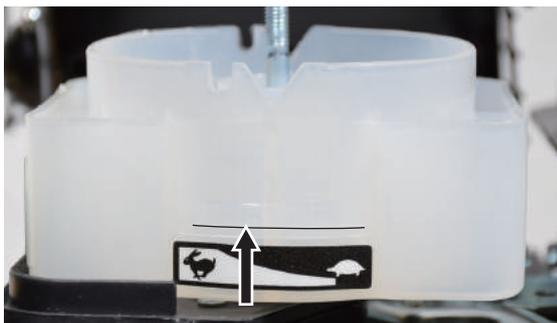


- 2 エアフィルタ（スポンジ）を取出します。



- 3 取出したエアフィルタ（スポンジ）を灯油で洗浄します。洗浄後はしっかり乾かします。

- 4 オイルだまりを洗浄して、「OIL LEVEL」の記載のある所までエンジンオイルを入れます。



- 5 取外しと反対の手順で取付けます。

●点火プラグの点検・清掃

■使用工具

プラグレンチ、ワイヤブラシ

■点検・清掃の仕方

- 1 点火プラグキャップを取外します。



- 2 付属のプラグレンチで点火プラグを取外します。



- 3 点火プラグをワイヤブラシで清掃します。



適応 点火プラグ	F7RTC
	BPR7ES(NGK)
	W22EPR-U(DENSO)

- 4 取外しと反対の手順で取付けます。

点検整備の仕方

●ギヤグリスの補充

ギヤに、100時間運転毎に潤滑グリスを補充します。

■使用工具
14mmスパナ

■補充の仕方

- 1** ギヤグリスボルトを取外します。



- 2** 高温、高荷重摺動（しゅうどう/しょうどう）部潤滑用のグリスを補充します。

- 3** ギヤグリスボルトを取付けます。

●燃料系の点検・メンテナンス

ガソリンを受ける容器を用意し、燃料タンクのガソリン、キャブレターのガソリンを抜きます。

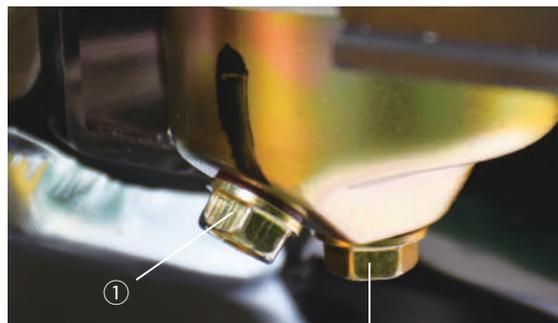
■使用工具
10mmスパナ

■点検の仕方

- 1** 燃料タンクのキャップを外し、タンク内の燃料を抜きます。

- 2** キャブレターに斜めについているボルト(+の溝があります)①を緩めて、ガソリンを容器に受け取ります。この方法でキャブレターの燃料を抜くことができます。

注) キャブレターの下側に付いている②のボルトは絶対に緩めないでください。



②触れないでください。

- 3** 緩めたボルトは、必ずしっかり締めてください。

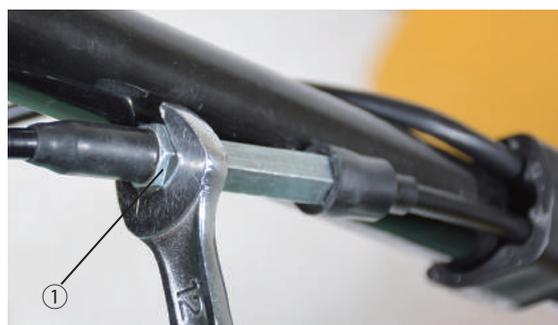
●クラッチワイヤーの調整

クラッチの繋がり具合を、クラッチワイヤーを調整することで変えることができます。

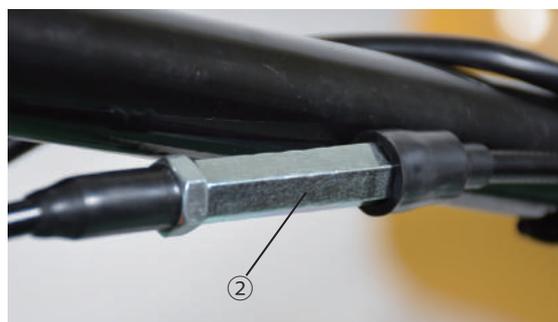
■使用工具
12mmスパナ

■調整の仕方

- 1** ①のナットを反時計回りに回して緩めます。



- 2** ②のアジャスタを時計回りに回すとワイヤーが張られます。反時計回りに回すと、ワイヤーが緩みます。



点検整備の仕方

3 Aのナットを右に回して締め、Bのアジャスタを固定します。

4 Bのアジャスタが回らないことを確認します。

●ベルトが滑っているか確認するとき

ベルトカバーを外して確認します。

■使用工具
10mmスパナ

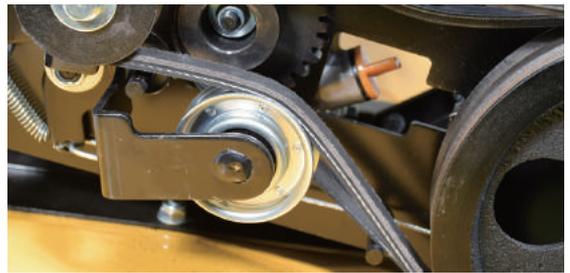
■外し方

1 3ヶ所のボルトを外します。（上2ヶ所、下1ヶ所）

2 前進クラッチを握ったとき、ベルトに①が接触しているかを確認します。



3 後進クラッチを握ったとき、ベルトに②が接触しているかを確認します。



4 ベルトにたるみがある場合は、P.30の調整の仕方の手順で調整をします。

長期間使用しないとき

●装置を1週間以上使用しないとき

1 保管するときは、平坦で堅い地面に水平に置いてください。

2 始動スイッチをOFFにしてください。

3 P.30の「点検整備の仕方」に沿って燃料タンク、キャブレターの燃料を抜きます。

4 リコイルスターターをゆっくり引き、重くなったところで止めます。

5 ローター、泥よけを清掃します。

6 各部ボルトの破損、腐食、緩みの点検をします。

7 防錆、給油を行います。

8 湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。

警告

- ・安全を確保し作業を行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。

注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

オプション一覧

製品名	型番	
アタッチメント 芋掘り用	HG-KATTACH-A	
アタッチメント 畝立て用	HG-KATTACH-B	
アタッチメント 片畝立て用	HG-KATTACH-C	
アタッチメント ホイール	HG-KATTACH-D	
六角パイプ アタッチメント	HG-KATTACH-E	

故障と思ったら

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない	①始動スイッチボタンの不良	交換
	②スパーク・プラグ不良	交換 (P.34 参照)
	③スパーク・プラグ・キャップ接続不良	調整 (P.34 参照)
	④イグニッションコイルの不良	交換
キャブレターに燃料が来ていない	①燃料がはいついていない	燃料を入れる
	②燃料ホースの詰まり、漏れ	ホース清掃、交換
	③燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり	交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	①キャブレター詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除

●エンジンはかかるが、回転があがらない

	①エアフィルタの汚れ	清掃又は交換
	②キャブレターの調整不良	調整

●ローターが動かない

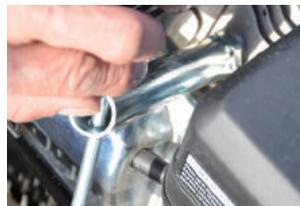
クラッチが繋がったり切れたりする	①クラッチハンドルの故障	新品に交換
	②クラッチワイヤーの破損、伸び	ワイヤー調整、新品に交換
エンジンは動くがローターが遅い、動かない	①ベルトの破損、伸び	新品に交換

故障と思ったら

点火プラグの点検

※機種により、プラグの位置、プラグキャップやリコイルの形状等異なります。ご了承ください。

①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチでプラグを外し、先端を確認します。



付属のプラグレンチで反時計回りで外します。振動等で緩まないよう少し固めに締め付けています。

先端が濡れている

先端は濡れていない

②燃料で濡れているため布等でよく拭きます。



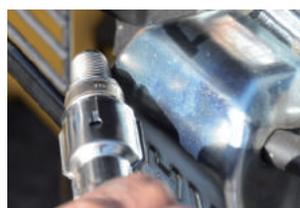
③リコイルスターターロープを引いて（15～20回）、プラグ穴から燃料が出てこないか確認し、出てきたらよく拭き取ります。

②外したプラグをキャップに取付けます。



③スイッチを入れます。

④プラグ先端をエンジン金属部に当てながら、リコイルスターターを引きます。



火花が出る

火花が出ない

プラグに異常はありません。プラグ先端の濡れは燃料の行き過ぎで起こります。再度エンジンをかけ、確認ください。それでもかからない場合は、他の原因が考えられます。

プラグの不良か他の原因が考えられます。購入先にお問い合わせください。

本規約は、ハイガー産業株式会社(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
 - (11) 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
 - (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
 - (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
 - (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
 - (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡いただきたく存じます。
またはお近くの修理協力店へご連絡くださいませ。
症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料や水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合がございます。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する場合がございます。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しできない場合がございます。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
- ・無在庫転売(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。
④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。
②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。
⑤お見積り提示。
⑥送料お客様ご負担で、故障装置を送ります。

ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様

①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理*1か、引取り修理*2か、出張修理*3かを相談させていただきます。
⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
 - ③故障内容の確認
 - ④故障装置の修理
- *1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

- お問い合わせ先
ホームページお問い合わせフォーム:<http://www.haigeshop.net/contact>
ハイガー産業お問い合わせ TEL:0276-55-2275 FAX:0276-55-2276

販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

オフィシャルサイト▶<http://www.haige.jp/agency.html>

本店サイト▶<http://www.haigeshop.net/new/2015-07-02-113023.html>

楽天サイト▶<http://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/after.html>

ヤフーサイト▶<https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

ハイガー産業 株式会社

〒370-0503 群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3

<http://www.haigeshop.net/>

本取扱説明書を熟読しても、弊社のサイトや動画等を見ても、問題が解決しない場合は、お手数ですが下記までお問い合わせください。その際、迅速なご対応ができるよう「お問い合わせ件名」を必ずお伝えください。
件名:「初期不良」「1年保証内故障」「1年保証外故障」「使用方法」「その他」

お問い合わせ

ホームページお問い合わせフォーム:<http://www.haigeshop.net/contact>

TEL. 0276-55-2275 FAX. 0276-55-2276

※平日12:00~13:00はお電話は繋がりにません。

※スタッフ一同、迅速・丁寧な対応を心がけておりますが、季節商品等お問い合わせが集中する時期は、電話が繋がりにくくなったり、折り返し対応や折り返しのご連絡が遅くなる場合がございます。誠に恐れ入りますが、順次対応いたしますのでお待ちいただけますようお願い申し上げます。

お急ぎのご用件でなければ、ホームページお問い合わせフォームよりご連絡をいただけますと幸いです。

FAXは24時間受付しておりますが、営業時間外や弊社休業日にいただいたお問い合わせに関しましては、翌営業日以降に順次対応させていただきます。ご了承ください。

◎営業時間:10:00~17:00(第1・3・5土曜日は12:00まで) ◎定休日:日曜、祝日、第2・4土曜日



※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

2018.10 改訂①